

特別支援教室

巡回校：府中第七小学校
本宿小学校

令和5年 9月29日 No.6

武蔵台小学校

府中市立武蔵台小学校

拠点校校長 南條 吉男

担任：

ひばり



2学期が始まって1か月が経ち、子供たちも学校生活リズムを取り戻してきています。1学期に比べて成長している様子もありましたが、個々に新たな課題が見られることもありました。引き続き、ご家庭、学校、「ひばり」の三者で情報共有し、連携をより密にしてお子さんのより良い成長を支援していきます。

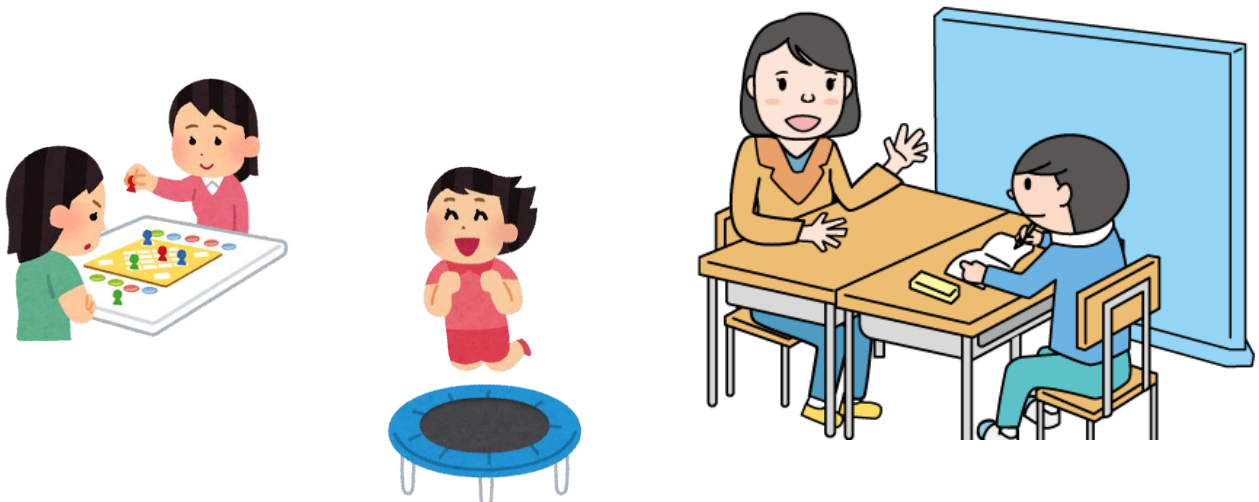


☆10月の学習予定について

低・ 中学年	個別指導	実態に応じた課題、日常生活の様子を話す・書く、めあての確認・振り返り
	小集団指導	ひばりすごろく、協力コップタワー、言葉で伝えよう、協力お届け便、背中のはなあに
中・ 高学年	個別指導	実態に応じた課題、日常生活の様子を話す・書く、めあての確認・振り返り
	小集団指導	ひばりすごろく、言葉で伝えよう、アサーション、多数派の意見は？、〇〇バスケット

☆個別指導の参観について

2学期は、個別指導のみ保護者参観を行います。ご希望の方はひばりの連絡ノートでお知らせください。参観の仕方や日程については、後日連絡いたします。



☆9月の指導より

○話を聞いて答えよう（低・中・高学年グループ）

夏休みやわくわく自然教室・日光林間学校などの出来事についてスピーチしました。その中から〇×クイズを出題したり、自分が知りたいことを質問したりしました。話を聞くときのめあては“話を最後まで聞くこと”です。話している人の方を向く、〇の声（声を出さない）で聞く、正しい姿勢などを意識させました。また、問題を作るときは、“話を聞けば答えが分かる”というポイントに気を付けさせました。クイズ本番では、どの子も話をよく聞いて問題に答えることができました。



○好きなものどっち？（低・中学年グループ）

「好きなものどっち？」というカードを使って、自分の好きなものを伝えたり、友達の好きなものを聞いたりする活動をしました。めあては、話を聞いて、あいづちを打ったり、「どうして好きなの？」と質問したりして、お話を続けることです。自分が話しているときに、友達が「うんうん。」「なるほど。」などと、あいづちを打ってくると、話しやすかったり、嬉しい気持ちになったりすることに気付くことができました。忙しい毎日ではありますが、保護者の皆様も、ぜひ、お子さんの話を聞くときに、たくさんあいづちを打って聞いていただけますと嬉しいです。



○スリーヒントクイズ（中・高学年グループ）

この活動では、三つ目のヒントで友達が当てられるようなちょうどよい問題を作れることをめあてとしました。ポイントは、自分だけが知っている情報をヒントにしたり、一つ目のヒントで答えが分かってしまうような問題を作ったりしないことです。自分ではちょうどよい問題を作ったつもりでも、友達にとっては難しかったり、簡単だったりします。このような経験を通して、「自分の知っていることと他者の知っていることは違う。」ということを学ぶことができます。繰り返し問題を作るうちにちょうどよい問題を作れるようになります。ご家庭でもやってみてください。

例 ヒント①色は赤です。 ②果物です。 ③丸くて、あまいです。

答え「りんご」

